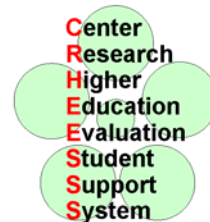


# 週刊センターニュース No.26



第26号(2004年9月6日)毎週月曜日発行  
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター  
URL: [http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\\_rche/index.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm)

## SD研修会のお知らせ

下記のようにSD(staff development)研修会が開催されますのでご案内します。

(当センターが企画に協力いたしました。)

日時: 9月8日(水) 13:00~

会場: 事務局6階大会議室

テーマ: 「大学改革と職員の役割 - 学生サービスを中心に」

講師: 中央大学経理研究所事務室長 横田 利久氏

なお、お問い合わせは学生部教務課までお願いいたします。

## 共同学習会のご案内

FD活動に対する各学部と当センターとの連携を検討するため、各学部にFD活動の現状と今後の取組について今後順次ご報告いただく予定です。9月の予定は以下の通りです。多数の教職員の皆様に議論に参加していただければと思います。(会場、日時が変則的ですのでご注意ください。)

- 第36回 日時: 9月14日(火) (14時 ~ 15時30分)  
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟1階 小会議室  
講師: 鈴木 永雄 教授(薬学部FD委員長)  
題目: 「薬学部のFDについて」
- 第37回 日時: 9月14日(火) (16時10分 ~ 17時40分)  
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟1階 小会議室  
講師: 山田 実 教授(工学部教育方法改善委員会委員長)  
題目: 「工学部のFDについて」
- 第38回 日時: 9月21日(火) (13時30分~15時)  
場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室  
講師: 木越 治 教授(文学部FD委員長)  
題目: 「文学部のFDについて」

## 徳島大学工学部の創造性教育

7月24日、京都大学高等教育研究開発推進センターの第65回公開研究会に参加した。「徳島大学工学部知能情報工学科におけるカリキュラム・授業改善の試み - 創成型科目の紹介 - (小野功教授)」により、「徳島大学工学部の創造性教育」の中心をなす創成型科目の具体的な内容を知ることができた。徳島大学工学部の取組は、平成15年度「特色ある大学教育支援プログラム」に採択されており、その概要については2月29日第9回FDフォーラム・第1回高大連携教育フォーラム(主催: 大学コンソーシアム京都)で英崇夫教授(徳島大工)の講演において紹介されている。徳島大学工学部では、創成学習開発センターを中心に、平成11年度より開始された「新工学教育プログラム」のさらなる推進に取り組むとともに、蓄積されてきた授業設計の手法や教育成果の評価方法を「全学共通教育センター」および全学委員会の「大学教育委員会」との連携のもと、教養教育、他学部の専門教育へ波及させることを目指している。

「創造性教育」の目標は、問題発見、問題解決能力を持った自立した人材の育成であり、技術者養

成に限らず、すべての分野での大学教育に当てはまる。この取り組みでは、グループでのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の育成も重視されている。以下、知能情報工学科で実施されている創成型科目の内容について概説したい。

実験、実習のほうが講義型の授業よりも、学生が積極的に取り組む場合が多いのはその性格上当然かもしれない。しかし実験、実習においても、内容が1コマごとに完結するタイプの場合は、学生に十分に考えさせる時間をとることが難しく、内容的にもモチベーションを高め、維持させるにはかなりの工夫が必要である。知能情報工学科での創成型科目では、学生のモチベーションを高め、維持させ、自ら課題に取り組む姿勢を引き出す工夫が綿密に仕掛けられている。創成型科目は2年次から実施されるが、その準備として最低限の知識、技術を「コンピュータ入門」、「データ構造とアルゴリズム」、「知能情報工学セミナー」などの科目を通して1年次に習得させる。「知能情報工学セミナー」では、テクニカルライティング、プレゼンテーションの技能を簡単な調査研究課題を通して習得させる。創成型科目「ソフトウェア設計および実験1,2」は2年次通年で実施される。ガイダンスに引き続き、個人実習課題としてサッカーエージェントの作成、さらにグループ実習課題としてエージェントチームおよびネットワーク対戦型ゲームの作成が課される。課題への取り組みは夏休みも含めて前期、後期にわたって継続される。グループ実習では3~4人で1グループが構成され、2グループに対して1人の教官またはTAが担任としてアドバイスなどを与える。サッカーゲーム戦術などの企画についてのプレゼンテーションを複数回行い、最終的にはサッカーゲームのコンテストに至る。3年次はやはり通年で「システム設計および実験1,2」が実施される。この場合もまた、1つ1つのステップの積み重ねの結果として自律型ロボットの製作という最終的な目標を達成させるスタイルになっている。知能情報工学科ではプログラミングが最も重要な学習項目であるが、ロボット製作という課題を通してハードウェアに対する意識を高めることもこの科目の狙いの一つである。

徳島大学工学部においては創成型科目における学生の達成度評価についても検討されている。その指標の一つとして卒業研究についてのプレゼンテーション評価が開発されている。教育の効果をどう見積もるかはきわめて難しい問題である。知識習得の指標として個々の授業での成績評価は意味があるかもしれないが、創造力や問題発見、解決能力の向上をどう評価したらよいのか？徳島大学工学部の場合、創成型科目の実施スタイルは卒論研究に連鎖しており、創成科目での達成度評価を最終ステージである卒論研究に求めるのは一つのアイデアと思われる。4年間を通した経時的評価が可能となる。英教授の講演では、本学工学部においてもプレゼンテーション評価法が採用されていると紹介があった。創成型科目における達成度評価や教養科目、他学部専門科目への同様の手法の適用など、本学の場合も含めてさらに情報を集めていきたい。（文責 西山）

## **センター教員活動記録**

- 2004.8.27 「かなざわまち塾 act ~市民交流広場~」(主催：金沢青年会議所、協力：いしかわ大学 連携促進協議会) 創作班の活動に協力し、木工所で椅子の作成に参加 (青野)
- 2004.8.27 「まち博祭2004未来会議」にシンポジストとして参加(青野)
- 2004.9.1,2 京都大学総合人間学部、高等教育研究開発推進センターへカリキュラム、少人数(ポケット)ゼミについて聞き取り調査 (西山 公費出張)
- 2004.9.2 法科大学院評価に関する調査のため日本弁護士会館を訪問(青野 委任経理金による出張) 併せて、明治学院大学ボランティアセンターを調査のため訪問(青野)

## **センター来訪者記録**

- 2004.9.6 熊本大学大学教育機能開発総合研究センターより長谷義隆センター長、山田雅彦教授が来訪 (本学部局間でのカリキュラム、科目の連携についての聞き取り調査のため。)